

CECEUF JOURNAL

V.O.L. 2

セセウフ通信第2号 若者からつくる日本の未来 Every youth is a creator of the future.

「福岡市有志大学生による明るい選挙啓発運動」大学アンケートにて



若者の投票率を上げるにはどうすればよいと思いますか?



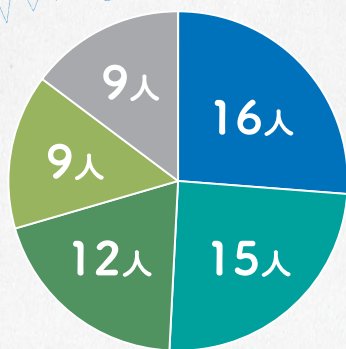
■あなたは投票へいきましたか？

わたしたち福岡市明るい選挙推進グループCECEUF(セセウフ)は、平成28年7月に執行された参議院議員通常選挙について、市内大学生を対象にアンケートを実施しました(回答人数90名)。アンケートの結果、「投票へいった」という人はわずか29名(約32%)。皆さんはこの結果についてどう考えますか？

■投票へ行かなかった理由(61名)

◎改善ポイント!

Why?



政治に興味がない

住民票がなかった

誰に投票してよいかわからなかった

予定があった

その他・無回答

政治は皆さんの生活に密接に関わっています。雇用の創出、奨学金制度…。決して皆さんに無関係の話ではないはずです。身近なところから**政治に関心を持ていきましょう!**

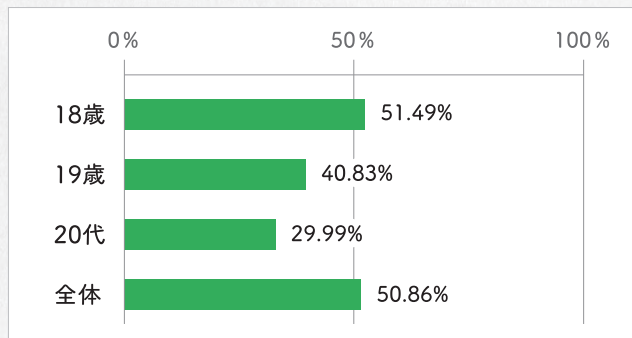
住民登録は、実際に住んでいる所を住所として届け出ることになっています。**引っ越しをするときには必ず住民票を移すようにしましょう!**

選挙公報や新聞、インターネットなどで候補者の情報を集めましょう。「あまり政治に詳しくないから…」と投票をためらっている人も多いと思いますが、18歳選挙が実現されたのは若者の意見を政治に取り入れるためです。**あなたの価値観に基づいたあなたなりの決定をすることを社会が求めています。自信をもって投票にいきましょう!**

投票日当日に予定のある人は、**期日前投票**ができます。市役所でも投票できるので、お買い物のついでに期日前投票を済ませましょう!

■18歳は投票へいったのか？

平成28年7月の参院選——選挙権年齢が引き下げられて初めての国政選挙でした。初めて選挙権を得た18歳・19歳は、果たしてどれほど投票へいったのでしょうか。



これは、平成28年参院選(選挙区)における福岡市の年代別投票率を表したグラフです(データは福岡市選挙管理委員会より提供)。18歳の投票率は51.49%で全体の投票率(50.86%)よりも高いという結果となりました。

それと比較して、特に20代の投票率は伸び悩みました。マスコミの取り上げ方の違い、住民票異動の有無などいろいろな要因はあると考えられますが、これからの社会を支えていく若い世代の意見を政治に届けなくてよいのでしょうか？

「投票のしかたがわからない」、「めんどくさい」と思っている人は、ぜひ一度投票にしてみることをおすすめします!思っているよりも簡単に、短時間で投票することができます!

詳しい投票のやり方を知りたい方は、福岡市選挙管理委員会のHPをチェックしてみてください。



<http://senkyo.city.fukuoka.lg.jp/youth/method/>

福岡市明るい選挙推進グループ CECEUF(セセウフ)



☑ 名前の由来

「CECEUF」は「Campaign for Enlightenment of Clean Election by some Undergraduates of Fukuoka city」『福岡市有志大学生による明るい選挙啓発活動』の頭文字を取ったもので、「セセウフ」と読みます。

☑ 主な活動内容

定例会を月1度、福岡市役所の選挙管理委員室で開催して選挙啓発のアイデアなどについて話し合っています。また、毎年1月から2月は、市内の小学校にて選挙に関する授業のお手伝いをしています。選挙の際は、福岡市選挙管理委員会と連携しながら啓発動画の撮影や街頭啓発などに取り組んでいます。



★メンバー募集中★

CECEUFは現在メンバーを募集しています!福岡市内の学生であればどなたでも大歓迎です!興味のある方は、下記メールアドレスまでお問い合わせください!

【お問い合わせ先】✉ senkyo.EACS@city.fukuoka.lg.jp